施策評価シート

施策番号【2-2】

評価年度	令和4年度	事業実施年度	令和3年度	施策主管次長名	岡　田　珠　見
施策番号	2-2	施策名	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	総合計画掲載頁	90～97
主担当部名	福祉部				
関連課名	長寿介護課、保険年金課、健康推進課、教育行政課、スポーツ課				

1　総合計画の目標指標　　PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1	地域医療	R5 中間値	R10 目標値
指標名	特定健康診査受診率　後期高齢者健康診査受診率		
指標の定義	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査を受信した者の割合	60%	65%
	75歳からの後期高齢者医療保険被保険者を対象とした健康診査を受信した者の割合	40%	45%
取組分野2	**健康づくり**	**R5 中間値**	**R10 目標値**
指標名	健康づくりに関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「健康づくり」の取り組みに対する満足度割合（アンケート）	75%	80%
取組分野3	**スポーツ**	**R5 中間値**	**R10 目標値**
指標名	成人のスポーツ実施者の割合		
指標の定義	週1回以上スポーツをする人の割合	56%	65%
取組分野4	**生きがい・働きがい**	**R5 中間値**	**R10 目標値**
指標名	生きがい・働きがいに関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「生きがい・働きがい」の取り組みに対する満足度割合（アンケート）	79%	82%
取組分野5		**R5 中間値**	**R10 目標値**
指標名			
指標の定義			

2　成果指標　　DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①　取組分野1　地域医療

成果指標名	健診受診歴分析者数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
		人	8,310	8,238	8,409	9,200	9,500
対象	健診受診対象者	指標設定の考え方	過去3年間の健診受診歴を分析し、受診勧奨対象者を抽出することで、対象者に対し効果的な受診勧奨を実施する。				
		把握方法	1年間に健診受診歴データを分析した数				

指標②　取組分野2　健康づくり

成果指標名	健康マイレージ事業参加者数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
		人	88	101	116	130	140
対象	市民	指標設定の考え方	市民が自主的に健康づくりに取り組むための動機づけとするため、健康マイレージ事業を実施する。				
		把握方法	1年間の健康マイレージチャレンジシート達成者数				

指標③　取組分野3　スポーツ

成果指標名	スポーツ施設の年間利用者数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
		人	350,338	246,121	291,623	393,000	397,000
対象	利用者	指標設定の考え方	市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツ施設・設備の整備を進める。				
		把握方法	1年間の利用状況を施設別に把握				

指標④　取組分野4　生きがい・働きがい

成果指標名	シルバー人材センターが年間契約している事業所契約件数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
		件	47	45	36	57	60
対象	事業所等	指標設定の考え方	働く意欲のある高齢者に就労の場を提供するシルバー人材センターへの支援を行う。				
		把握方法	年度末現在の年間契約している事業所契約件数をシルバー人材センターに確認				

指標⑤

成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
対象		指標設定の考え方					
		把握方法					

3　施策の評価　　ANALYSE & CHECK（分析・評価）

施策の分析　（現状の確認と近隣調査）

施策の現状		・特定健診受診率、後期高齢者健診受診率は低く、生活習慣病重症化予防事業や受診勧奨等の各種保健事業を展開することにより市民の健康保持と医療費の適正化に努めている。 ・市民のスポーツ実施率は国の「第2期スポーツ基本計画」で示された実施率と比較して大きく下回っている。 ・シルバー人材センターの会員数を伸ばすために、これまで、事業所訪問を行うことで高齢者の希望に応じた幅広い職種の開拓を行っていたが、令和2年度から、コロナ禍により、事業所訪問を中止している。
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	健康寿命の延伸を図るため、日ごろから健康づくりに努め、進んで健（検）診を受診し、病気予防・療養・治療に専念する。スポーツの多様な効果を認識し、スポーツを生活の一部とすることで人生を豊かにし、生活の質の向上と健康でゆとりのある生活を送るようにする。多くの高齢者が積極的に参加できる多様な地域活動を立ち上げ、地域で生きがいや働きがいをもって、健康に暮らせる環境づくりに努める。
	行政	・健康増進の機会、早期発見のため健（検）診の普及を図り、健（検）診費を負担する。 ・年代に応じたスポーツライフを充実させるため施設の整備と機会の提供に努め、イベントや教室を開催し、スポーツ活動のきっかけづくりと仲間づくり（コミュニティ）ができる組織・団体を醸成する。 ・高齢者の希望に応じた幅広い職種を開拓するなど、シルバー人材センターの事業の充実を図る。
近隣市町との比較		・特定健診法定報告によると、令和2年度受診率は33.1%で県内40位、近隣市町との比較で日進市が42.3%と高く、同一医療圏の豊田市は34.6%となっている。 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率：みよし市R2(45.8%)、全国R2(59.9%)、名古屋市R2(55.8%)、刈谷市R2(50.3%)、豊田市R2(55.7%)

施策の評価　（活動の振り返りと課題の明確化）

令和2年度以前の活動	・集団健診の実施や健診期間の延長や「健康マイレージ事業」を実施。 ・特定健診の受診勧奨（対象者を受診履歴から分析し受診動向のタイプ別に仕分けする方法）の実施。 ・令和2年度の生涯スポーツ事業は全て中止したが、学校施設スポーツ開放の実施やスポーツ協会加盟競技団体等各スポーツ関連団体への支援・育成を図るほか、地域の中で気軽にスポーツに親しむことができるように地域スポーツクラブに対して継続的な支援を実施。 ・年度当初の、市工業経済会役員会にて、シルバー人材センターの活動内容の説明及び仕事（発注）依頼を行い、募集チラシを作成し、地域事業所へポスティングによる案内を行う。
令和3年度の活動内容	・特定健診の受診勧奨（対象者を受診履歴やレセプトデータから分析し受診動向のタイプ別に仕分けする方法）を実施 ・シルバー人材センターについては、コロナ禍により事業所訪問を行うことでの就業機会の確保に努めることができなかった。新規会員を増やすため新聞にチラシの折り込みを行った。 ・スポーツ協会加盟団体では新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら大会、教室等を概ね実施することができたが、生涯スポーツ事業は令和3年度においては全て中止した。
積み残し課題等	・後期高齢者健診について、対象者を受診履歴から分析し、受診動向のタイプ別に仕分けする方法による受診勧奨方法実施の検討を行う。 ・将来に向けたスポーツ施設の環境改善を図るとともに、市民ニーズに基づいた総合型地域スポーツクラブの更なる展開など、スポーツを行うきっかけづくりにおいて新しい生活様式に適応した提供方法が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りながら事業を実施するための方法を検討する必要がある。 ・高齢者人口は増加しているが、定年年齢の引き上げ等が大きな要因となり、会員数の伸びが少ない。コロナ禍もあり就労先の事業所の開拓が進まない。

4　活動計画　　ACTION & PLAN（目標を達成するために起こす行動）

令和4年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・健康マイレージ事業の周知方法として、無関心層に向けた普及啓発の働きかけを積極的に進める。 ・高齢者の医療レセプト、健康診査、介護レセプトのデータ分析により地域の健康課題を把握し、フレイル改善のための保健指導や通いの場を活用した教育・相談などの高齢者健康維持支援を一体的に行う仕組み「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施推進事業」を開始する。 ・新型コロナウイルス感染症等の感染防止を図りながら、いかに市民が自主的に健康づくり・体力つくりのためにスポーツを継続的に行うことができるかについて、引き続きスポーツ団体やスポーツ推進委員会、地区スポーツ委員などと相互に連携しながらスポーツを行う機会の提供を図る。 ・くらしはたらく相談センターの設置する就労的支援コーディネーターと連携し、新たな事業所の開拓や新規会委員の発掘を行う。
施策目標達成に向けての令和4年度の活動内容	・スマートフォン等の専用アプリを活用した「健康マイレージアプリ」の幅広い世代への利用拡大の推進を図る。 ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施推進事業」を令和4年度より開始する。 ・糖尿病などの重症化のおそれのある対象者に対しての保健指導の実施 ・引き続きスポーツ団体やスポーツ推進委員会、地区スポーツ委員などと相互に連携しスポーツ振興に取り組むとともに、新しい生活様式に適応したあらゆる世代に対する生涯スポーツを通した健康づくりの機会の提供を図る。 　令和4年度は、総合体育館アリーナの工事が6月末に完了するため、感染防止対策を講じてレクリエーションスポーツのイベントを開催していく。 ・シルバー人材センターと就労的支援コーディネーターが連絡調整を行う会議を開催 ・高齢者の就労相談事業を委託